

事業承継は突然に!?
―後継者育成セミナーを開催―

1月19日・26日、ジャイロ総合コンサルティング(株)専務取締役の腰高康雄氏を講師に招き、「その日は突然やってくるかもしれないそんな机上の空論なしの後継者育成セミナー」と題し講演いただきました。事業承継を考えている経営者の方、将来会社を継ぐ可能性がある方、業務改善が必要だと感じている経営者・後継者の方など幅広い方を対象に行われました。



2日間じっくり学びました

セミナーはテーマを変えて2日間実施され、初回は後継者としての新戦略を作る!というカリキュラムをもとに行われました。腰高氏は、事業承継の現状と新戦略を作るための分析手法やマーケティング方法について詳しく説明しました。事業承継の考え方としては、後継者と現経営者が二人

「小規模事業者持続化補助金」

(一般型 第3回 10/2締切)の採択結果が発表されました

【当所関係 採択者一覧表】

(順不同)

事業所名	補助事業の事業名称
lu:xe	シャッターボックス看板&料金看板等含めた正面入り口のリニューアル工事
Blue Rose	サロンイメージの確立と顧客取込のための新サービスの開始
ふじい整骨院	受診システムの効率化と対外アピールによる販路拡大事業

(コロナ特別対応型 第4回 10/2締切)の採択結果が発表されました

【当所関係 採択者一覧表】

(順不同)

事業所名	補助事業の事業名称
(有)大濱	加古川海苔の製造工程と魅力を紹介する動画の制作
(株)ハリマクリエイト	動画サービスを活用した新たな不動産探しのHPと店舗づくり
ビューティーサロン ムウ	自動洗髪機の導入による売上回復と新サービスの提供
(株)おちあい	リモートカウンセリングや肌診断による化粧品のネット販売
(有)きりしま産業	オンライン販売の強化による新規顧客の獲得と売上アップ
(株)平田重機	営業スタイルのIT化による効率的な新規顧客獲得
鉄板イタリアン Mano	キッチンカーでの移動販売
(株)美広社	HP開設における新規販路の開拓、リモートによる打合せ

三脚で成長を目指すことが目標であるが、中小企業の経営者は現在高齢化が進んでおり、事業承継には「早すぎ」も「遅すぎ」もないうえに、新たな経営の担い手は年々減少傾向にあり、事業承継がいかにか重要かを主張しました。また、事業承継した後継者は、事業を拡大したい、新事業を始めたいと考える割合も多くいるとグラフを用いて紹介があり、後継者のマーケティング力も求められると強調しました。

第2回は経営成長させる後継者のマネジメント力を鍛える!をテーマに説明がありました。経営する上で、部下指導と部下

育成のマネジメントのポイントと売上を上げるための顧客に対するマネジメント手法を中心に典型的な商談不成立例と、潜在的なニーズを聞き出す成立例を挙げながら詳しい説明がありました。管理者としては、部下の状態を把握して適切な教育を行うことが求められ、そのためには日常のコミュニケーションや観察が重要であると述べました。

参加者は12名

経済先行き見通しは...
―2021年経済展望を開催―

2月1日、加古川経営者協会・神戸経済同友会東播支部との共催で、日本銀行神戸支店長 長江敬氏を講師に招き、2021年の経済展望と管内の金融経済状況について講演が行われました。



毎年人気の講演会です

長江氏は、日本経済の現状、県内経済の現状、当面の経済の見通し、県内経済の課題と可能性に触れ、

昨年からの新型コロナウイルスの影響を大きく受け、厳しい状況が続いていますが、基調としては緩やかに持ち直しているとの解説がありました。日本銀行としての新型コロナウイルスへの対応は、企業等の資金繰り支援、金融市場の安定確保、ETF・J-REITの積極的な買い入れ等の対応をしていると説明がありました。

参加者は38名

団体だより

加古川市環境保全研究会

各種規制法について学ぶ
―リサイクルエコファクトリー部会研修会―

2月3日、加古川市環境部環境保全係長 栗栖伸生氏を講師に、工場等における騒音・振動に関する規制について「オンライン研修会」がありました。

はじめに、騒音規制法・振動規制法の概要について解説があり、音の大きさや目安の紹介、兵庫県下で定める騒音および振動の規制基準について、時間ごとに区切って詳細に説明がありました。

また、各種規制法にかかわる届出書についても説明があり、届出に際して何かわからないことがあれば遠慮なく相談して欲しいと言われました。

最後に、講師から工場内での作業または建設時の周辺住民への配慮について、コンプレッサー等の特定施設に限らず設計図面の段階でシミュレーションをすることや、より厳しい基準(例:規制基準のマイナスイオン)を設ける等のアドバイスがあり、参加者は「今後工事・解体する際には、今回の内容を思い出し参考にしたい。」との感想がありました。参加者は21名

生物の多様性と絶滅の危機
―エコ環境部会研修会を開催―

2月16日、姫路獨協大学非常勤講師 市川憲平氏を講師に招き、「生物多様性について」と題した講演が行われました。



生物多様性には3つのレベル、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性があります。現在、生物多様性の危機に面しており、それは生態系の危機、種の危機で絶滅のおそれのある日本産野生動物の種族は1446にものぼるといわれています。生物多様性の危機を招いたのは、人間活動や開発など、ヒトが引き起こしたもので、自然に対する働きかけが減少したこと、外来種や化学物質による影響と様々なことが考えられると解説がありました。

地球温暖化も進んでおり、温室効果ガスの削減目標が定められるなど、その他様々な方法で生命体の絶滅を防がなければならないと強調しました。参加者は7名